

日本経済新聞：議会改革度調査
「全国市・区議会改革度ランキング」上位3都市の比較

	四日市市	会津若松市	高山市	
総合順位	1	2	3	
総合得点	71.0	64.6	64.2	
総合偏差値	88.78	83.03	82.67	
情報公開度	議会本会議のネット中継	○	○	○
	議会本会議のネット録画配信	○	○	○
	議会本会議の有線テレビ中継	○	○	○
	議会本会議の有線テレビ録画配信	○	○	○
	議事録のネット公開	○	◎	○
	議案のネット公開	◎	×	◎
	議案の指定場所での閲覧	◎	◎	◎
	政務活動費：領収書を含む収支報告書の閲覧	○	○	○
	政務活動費：使途のネット・議会報での公開	◎	◎	○
	表決議案の賛否：ネットでの公開	◎	○	◎
	表決議案の賛否：議会報での公開	◎	○	◎
	情報公開度偏差値	82.17	73.86	85.49
情報公開度順位	5	16	1	
住民参加度	請願陳情者への説明機会の保障・議事録記載	◎	◎	◎
	過去2年間の参考人制度の活用回数	7	9	0
	議会報告会：開催規定の有無	◎	◎	◎
	議会報告会：年間開催回数	16	30	21
	議会報告会：1回あたり平均参加人数	30	15	36
	住民参加度偏差値	75.39	75.39	71.84
住民参加度順位	4	4	13	
運営改善度	一般質問での一問一答方式の導入	○	×	○
	本会議質疑での一問一答方式の導入	○	○	○
	執行部の反問権	◎	○	○
	自由討議実施の制定規定	◎	◎	◎
	常任委員会での自由討議の有無	○	○	○
	議会基本条例の制定	◎	◎	◎
	過去2年間の政策条例の議員提案件数	1	0	0
	過去2年間の政策条例の議員提案可決件数	1	0	0
	議決事件の追加	○	×	○
	議長選挙での所信表明等の実施	○	○	○
	議長の通常在任期間（年）	1	2	1
	運営改善度偏差値	85.71	78.30	72.44
運営改善度順位	1	4	16	

高山市議会では積極的なアウトリーチ（出前活動）を行い、現地調査や分野別市民意見交換会を多用し、議会の側からむしろ出向いていくという対応を強化しているせいもあるといえますが、この点についてはこれから強化すべきと認識していま

す。しかし、議会報告会1回当たりの参加人数の調査項目では、高山市議会は36人、四日市市議会30人、会津若松市議会15人の順となっています。「話せる化」の推進の中で地域別市民意見交換会ばかりでなく、分野別市民意見

交換会で市民との距離感を縮める努力を継続してきた結果とも受け止めています。昨年の地域別市民意見交換会への出席者数もV字回復してきています。

③「運営改善度」最後に「運営改善度」ですが、四日市市議会1位、会津若松市議会4位に比べ高山市は16位と少し引き離されています。この分野の調査項目の中では「自由討議」の実践が全国的に問題となつています。上程案件について行政の説明だけではなく、市民目線に立った議員間での論点整理や議論

3 議会を比較する中で高山市の立ち位置というものが見えてきたと思います。

成果指標重視への転換が必要

の高まりの中で「決定の前の審議・審査の充実」に努力しているかの観点です。さすがに上位3議会ではそれぞれ努力されています。しかし、過去2年間の政策条例の議員提案とその可決数の項目では差が出ています。高山市議会は「政策提言活動」に重点を置き、独自の政策形成サイクルの充実に努めてきました。法制担当の事務局体制が整っていない段階では、基礎調査の充実とそれに基づく政策提言活動が、市の政策水準向上のためには有効と判断しているためです。もう少し全体のレベル向上をはかり、次の段階として政策立案に向かいたいと考えています。

これまでの外部機関の評価は、活動指標による評価を重視し、点数化するというものでした。しかし、今後は議会の改革の次のステップとして、成果指標重視への転換が図られるものと認識しています。いわば形から入る評価から、その質が問われる評価への転換です。

住民満足度の高い施策の充実へむけ、議会はどう活動してきたのかが問われるものと考えます。

（広報広聴委員会）

例え自由討議の活発化や一般質問の内容の充実、意見交換会への女性・若者の参加への取り組み、参考人招致と公聴会開催への努力等にまだまだ改善の余地があります。

そのためにも、1期4年かけて実践してきた議会改革への取り組みを、一度議会内部で検証してみることとしています。

これからの外部機関の評価は、活動指標による評価を重視し、点数化するというものでした。しかし、今後は議会の改革の次のステップとして、成果指標重視への転換が図られるものと認識しています。いわば形から入る評価から、その質が問われる評価への転換です。